

# 😊家読（うちどく）始めてみませんか？😊

【小学校低学年向け】

♣保護者の皆様へ♣

第1号（令和5年4月発行）芦別市立図書館

## ◆子どもと一緒に読書を楽しみませんか◆

読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことができないものです。

子どもと一緒に読書を楽しみながら、子どもの読書習慣を育てていきませんか？  
「家読」とは、「家族ふれあい読書」の意味で、読書を通じて、コミュニケーションを図り、家族の絆をつくる取り組みです。



### 「読書」はこんな効果が！

#### ★読解力がつく★

読書をすることによって、場面の様子の移り変わりやさまざまな感情の違いを理解できるようになります。だれの気持ちになって考えるのか、何を読み取るのか、などの判断する力は、たくさんの本に触れ、楽しんだ経験で育ちます。

#### ★集中力が高まる★

文字を追いながらその世界をイメージし没頭していくことで、集中力を身につけるのに役立ちます。

#### ★コミュニケーション能力の向上★

読書によってさまざまな立場で考えることができるようになります。相手の気持ちを思いやることができるようになるとお友達との関わり方もよい方向に変わり、うれしい変化も期待できます。

#### ★語彙力アップ★

知らない言葉や漢字、新しい表現方法に触れることでボキャブラリーが増え、表現力も大きく伸びていくことができます。

### 「家読」に取り組むとこんな効果が！

- ◆ 家庭内でのコミュニケーションが増え、家族の絆を深めることができます。
- ◆ 親子で夢について話し合うことができます。
- ◆ 親子でお互いに考えていることがわかります。
- ◆ 本を読むきっかけづくりができます。
- ◆ 今まで気づかなかった子どもの新たな発見があります。



### 「子どもと一緒に楽しむ」ポイント！

- ◆ リビングに常に2～3冊の絵本を置くようにする
- ◆ 絵本の読み聞かせをする
- ◆ 図書館の「読み聞かせ会」に親子で参加する



# 小学校低学年向け おすすめ本のリスト

## 1年生におすすめの本

ひとりでもよめる！



「あきらがあけて  
あげるから」

作：ヨシタケシンスケ  
出版社：PHP 研究所

幼年童話の最高峰！



「エルマーのぼうけん」

作：ルース・スタイルス・ガネ  
ット 訳：わたなべ しげお

その他のおすすめ本

- ・グリムの本だな 怖いものなしの六人 (あかね書房)
- ・いちねんせいえほん (日本図書センター)

選び方のポイント

子どもはまだまだ読み聞かせが大好きです。  
このころは長い物語を毎日少しずつ読んで  
あげるといいでしょう。

## 2年生におすすめの本

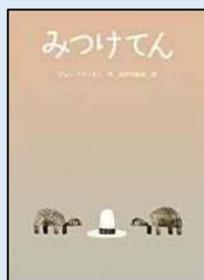
1話 約20ページ！



「ぼくは王さま  
ごちそうコレクション」

作：寺村輝夫 絵：和歌山静子  
出版社：理論社

ふか～いえほん



「みつけてん」

作：ジョン・クラッセン  
訳：長谷川 義史  
出版社：クレヨンハウス

その他のおすすめ本

- ・番ねずみのヤカちゃん (福音館書店)
- ・としょかんライオン (岩崎書店)
- ・みどりいろのたね (福音館書店)

選び方のポイント

自分で本が読める！という「読書への自信」  
を育てるため、最後まで負担なく読める  
文章量のものを選びましょう。

## 3年生におすすめの本

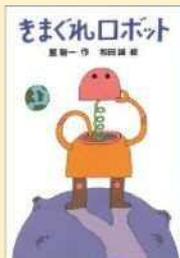
たのしくよめる！



「大ピンチずかん」

作：鈴木のりたけ  
出版社：小学館

はじめてのSFに



「きまぐれロボット」

作：星新一 絵：和田誠  
出版社：理論社

その他のおすすめ本

- ・怪談オウマガドキ学園シリーズ(童心社)
- ・学校では教えてくれない大切なこと  
シリーズ (旺文社)

選び方のポイント

読む力がメキメキついて、読書が楽しくなる  
年頃です。学習漫画などもだんだんと  
読めるようになります。